

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	佐賀県伊万里市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	伊万里市文化遺産継承活用計画	【計画の改善時期】 平成31年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>伊万里市総合計画を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、下記の取組を実施する。また、実施計画期間中は、下記の取組を通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>1. 地域の文化遺産継承事業（平成28年度～31年度）  対象文化遺産：中里申相撲（平成28年度）、浦ノ崎子供浮立（平成28年度～平成29年度）、里浮立・府招浮立（平成31年度）  事業予算：3,077,782円（補助申請額：2,130,000円）</p> <p>用具の修理・新調を軸に地元保存会の継承に対するモチベーションを向上させ、新規会員の獲得や後継者養成を  実行委員会構成団体内で実施する。補助事業としては平成31年度まで実施し、その後は保存会単独で新規会員の獲得と後継者養成を図る。</p> <p>2. 地域の文化遺産記録作成事業（平成28～29年度）  映像記録作成を軸に地元保存会の継承活動の記録保存と発信を図る。補助事業として平成29年度まで実施する。その後は保存会単独で例年の記録と発信を継続する。</p> <p>なお、平成31年度以降の実施計画については、平成29年度の事業実施後に新規で里浮立保存会および府招浮立保存会より、事業参加の要望があったため、事業計画を変更した。</p> <p>※伊万里市第6次総合計画（該当部分の抜粋）は別添のとおり。</p>			
6 実施体制			
<p>伊万里市が本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおりである。</p> <p>教育委員会生涯学習課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等を行う。</p> <p>補助事業は次の団体が実施する。  伊万里市文化遺産継承活用実行委員会（委員長：山下国博）  構成団体：伊万里市教育委員会（事務局）、里浮立保存会、府招浮立保存会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 7,961 千円	平成31年度申請額： 2,130 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、今後市民の力による地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制が構築されるとともに、今後、歴史文化基本構想を策定するための理解を市民レベルで広げることができる。</p>			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
「歴史文化基本構想」「歴史的風致維持向上計画」の作成予定なし。	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	伊万里市教育委員会生涯学習課

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分1:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標1:	里浮立および府招浮立保存会会員数			関連事業:	①	
目標値1:	【現状値】 平成 30 年度 629 戸 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 633 戸					
設定根拠1:	里浮立・府招浮立で各々1戸の新規参加を目指す。					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
戸	戸	戸	戸	戸	戸	
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2:	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標2:	里浮立および府招浮立の奉納行事への参加住民数			関連事業:	②	
目標値2:	【現状値】 平成 30 年度 220 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 224 人					
設定根拠2:	里浮立・府招浮立で各々1戸の新規参加を予想。演者の子どもと支援スタッフとして親類1人が参加すると考えられる。					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	人	人	人	人	

